

(公財)兵庫県国際交流協会主催
令和7年度 日本語教師のための
チャレンジ! 地域日本語教育研修

地域日本語教育って 何なん?

参加無料!

地域って何なん?

第1回 8月1日(金)
18:30~20:30

地域日本語教育とは
—日本語教師の役割を考える—
講師: 萬浪 絵理氏

第2回 8月22日(金)
18:30~20:30

「日本語教育の参照枠」と
生活者のための日本語教育
講師: 奥村 三菜子氏

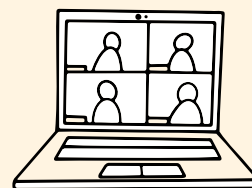
参照枠って
どんなん?

兵庫県は
どうなん?

第3回 8月29日(金)
18:30~20:30

インタビューで知る地域の教師
—兵庫で活動する教師の体験談—
ファシリテーター: 奥村 三菜子氏

／全3回／
オンライン開催



お申込みは裏面へ
締切 7月27日(日)



主催: 公益財団法人兵庫県国際交流協会 (HIA)



文部科学省

令和7年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業



令和7年度兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

ごあいさつ

兵庫県や近隣の 日本語教師の みなさんへ



令和元年に日本語教育推進法が施行され、地域での日本語教育のあり方が大きく変化しようとしています。今後、地域日本語教育の分野で活躍する人材はさらに必要とされるでしょう。

これまで地域の日本語教室に関わる機会がなかったみなさん、地域日本語教育って何なん？と気になっているみなさん、生活者としての外国人に対する日本語学習支援に日本語教師がどのように関わっていけるのか、いっしょに考えてみませんか。それはきっと、日本語教師としての活動の幅を広げるきっかけになるはずです。

第1回 萬浪 絵理氏

(特非) 国際活動市民中心 (CINGA)
理事・日本語教育コーディネーター

千葉市国際交流協会
地域日本語教育推進事業 総括コーディネーター

1980年代に日本語教師になる。2012年から「生活者」のための日本語教育に関心を移し、コーディネーターやアドバイザーとして活動。対話的な日本語教育、および教師／学習支援者の育成研修の企画と実践を重ねる。自身のテーマは、多文化共生のまちづくりのための日本語教育。日本語教師の専門性は、地域でどう活かせるか。専門性の中に手放したほうがよいものはないか。一緒に考えましょう！
教材『わたしをつたえるにほんご』開発メンバー。

講師紹介



第2回 奥村 三菜子氏

(特非) YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち
副理事

1990年代から海外の大学や市民講座等で日本語教育に携わる。2013年より国内の大学、専門学校、地域日本語教室等で日本語教育を行うと共に、日本語教師研修やボランティア研修の講師を多数務める。2022～24年まで文科省委託「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発・普及事業の委員。
主著：『日本語教師のためのCEFR』（共編著、2016年、くろしお出版）、『日本語を教えてみたいと思ったときに読む本』（共著、2022年、コスモピア）

開催概要

ー 対象 ー

有資格の日本語教師の方、または日本語教師養成コース在籍中の方で、地域日本語教育に関心をもち、兵庫県または近隣府県に在住・在勤・在学の方
※授業の経験がなくても構いません

ー お申込み ー

当協会HPまたは二次元コードの申込フォームからお申し込みください
※申込多数の場合は兵庫県内の方、全日程参加できる方を優先します
URL <https://www.hyogo-ip.or.jp/index.html>
締切 2025年7月27日（日）
定員 60名

お申込みはこちら⇒

ー お問い合わせ ー

公益財団法人 兵庫県国際交流協会（HIA）多文化共生課
Mail: nihongoあっとnet.hyogo-ip.or.jp / Tel: 078-230-3261
※「あっと」を「@」に変えてください。

